iHP asahi-net.or.jp/~sd5h-mtsa/rockytop12-1.html

PICKIN' SINGIN' GINZA Rocky Top かわら版 第98号

2006 1.13 発刊

Yeah! マネージャー No.57
暗号明日は晴れ?の巻 作 チーフ井上

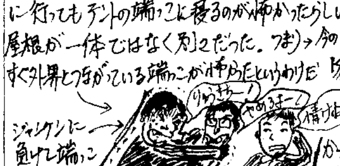
ロッキーHP→ www.liverocky.com

拝啓 January

2006年が始まりました。今年は自分としては「堂々と攻めていきたい」です。若い頃は「生意気に思われるのが怖い!」なんて思いつつ生意気に思われたのはまだまだ世間知らずだったからでしょう。今は自信を持つことが、他人への優しさにつながる気がします。偉そうではなく堂々と生きるぞ!

マスター田口の不幸デラックス(青春編)

①怖がりマスター…マスター田口は昔からかなりの臆病者だったらしく、キャンプに行ってもテントの端っこに寝るのが怖かったらしい。昔のテントは今のと違って中の囲いと屋根が一体ではなく別々だった。つまり今のはすぐ外界とつながっている端っこが怖かったというわけだ



早川さんは抱きつかれ、かなり気持ち悪かったらしい。この場合不幸デラックスなのは早川さんの方だった…。

②殺虫剤攻撃事件…子供の頃から気軽に早川宅に遊びに行くマスター田口だったが早川さんも気分というものがあり、どうしても来てほしくない時もあった

出来事らしい。それにしても虫ケラ以下とはまさにこの事だ…

どこへ行くブルーグラス㉖

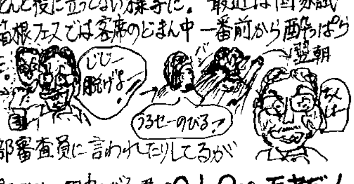
…わたくしチーフ井上がロッキートップに入り、ブルーグラスと出会ってからの様々な思い出をたどりながら、今後ブルーグラスがどこへ行くのか考察するコーナーだ

問題児のびる登場の巻…バンジョー越田の努力によって関西からたくさんの若手ブルーグラッサーが流出してきたのだがその中に「**田中のびる**」という強者がいた。さすがの越田も手に負えない存在だった。彼が学生の頃から色々と噂だけ伝わってきてた。**神戸大学の部長のびるはすごい奴だ!** 関係の噂だ。例えばライブ最中に

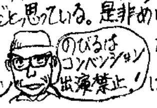
このような恐い噂話や

彼が学生時代バイトしてた「ホンキートンク」というライブハウスの店長に対して

などの逸話がありました。そして実際会ってみると噂通りのとんでもなくぶっ飛んだ奴でした。ステージではギターをロック並みに下の方にぶら下げ飛び上がる荒技も他のブルーグラッサーではありえない光景でした。「ローリングマイスイートベイビーズアーム」を「**回転式腕まくら**」と訳して絶叫。そんな彼のステージにまじで切れるブルグラスファンもいて、とあるフェスで**氷を投げつけられる**という事件もありました。そんなのびるだがやはりバカと天才は紙一重で、すごい才能もあった。「2065年の12月3日は何曜日だ?」ときくと「水曜日ですよ」などと答えるのだ。何年何月何日と指定すると曜日を即座に言い当てる、という希有な才能をもってるのだが実際の人生ではほとんど役に立ってない様子だ。最近は国家試験合格を目指し勉学の日々だがなかなかストレスがたまってるらしく今年の箱根フェスでは客席のどまん中一番前から酔っぱらって出演者に野次を飛ばしまくり、かつてのバンドのメンバーになぐられるという事件もあった。



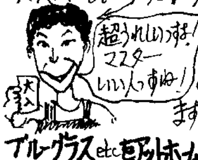
確かに奴はある線を越えてしまって、やばいとこがあるのだが、型にはまった人ばかりのブルーグラス界の中、自分としてはとっても面白い存在だと思っている。是非めげずに自分のワールドを放出しまくってほしい!負けるなのびる!



などとS部審査員に言われたりしてるがどうにか頑張ってあらゆる戦法を駆使してコンベンションにも登場してほしい、田中のびる。君はOnly One。天才だ!

2006年 新年のあいさつ!

2005年はロッキートップ25周年の年であり、なんとかその記念すべき年を良き一年にしたい!と思いました。お客様、バンドの皆様の御協力のおかげで久しぶりに好調(?)な年となりました。12月の25周年マンスリー企画にも予想以上のお客様が足を運んでくださり、大入でした。スタンレー丸山も喜んでおります。



今年2006年もスタッフ一同頑張っていきますのでよろしくお願いします!「**銀座でカントリー、ブルーグラスetcをアットホームなムードで!**」をモットーに楽しく庶民的な店作りを目指していきます!

チーフ井上の出会い―これしかないでしょ!

日本フォークソングの店でブルーグラッサーと出会う **Andy橋場さんの巻**

先日年上の友人**古今亭菊千代**さんという女性落語家のお誘いで四谷3丁目の「**現代ロマン**」というお店に飲みに行った。「70 Folk Songの店」と名打ってるだけあって、入ってみるといきなり「なぎら健壱」似のおっさんがしぶい日本のフォークを歌っている。そして次から次へとカウンターに座っていたおっさん達が3曲ずつくらい、古い日本のフォークを歌いまくっていった。「す…すごいのりだ…」吉田拓郎、五つの赤い風船、ディランIIetc… しかも俺が店で最年少という素晴らしさ。店のマスターが「あとからアンディーさんというバンジョーマンドリンとかもやる人が来るよ」と言う。「その世界は狭いはずだが…」と思ってたら、やっぱり現れたアンディーさんは「**あれ?!チーフ井上じゃない!**」見覚えがあった。**Country Church**というバンドの**Andy橋場さん**だった。俺がはじめに吉田拓郎「制服」古井戸「さなえちゃん」「ポスターカラー」そしてオリジナル「どこへ行くアメリカ」を歌うと、アンディーさんは「うーん!久しぶりにフォーク魂が燃えてきたー!」と**ナターシャセブン**をやり、自分がバックでマンドリンを弾いた。**ナターシャ嫌いです**なんて口がさけても言えない勢いだった… その後「永遠の絆」からブルーグラスチューンに以降し、いつしか店のムードは**ロッキートップへ**…。それにしてもロッキーで働いたおかげでバンジョー、マンドリン界の人達と、年は離れていてもすぐ打ち解けられ、遊べるのはうれしいなーと思う正月明けの出来事でした。

Pick Up Live!

1/24(火) Young Bluegrass Night

- TATERTOSS (Vo.G 山口徹 Vo.Ma 井上太郎)
- The Untitled B.G Band (Bj 斎藤大輔、Vo.& Bass 鮫島大介、G 山口徹 Ma 井上太郎、f 大西理香)

数少なくとも頑張っています!関東若手(みな20才)のブルーグラッサーが集まります。「まだまだ音が若いなー…」などと言わずに、未来を夢見て頑張る若者達にエールを送りにいらして下さい。

B.C ¥1800 〈予約受付中〉

1/30(月) The GentleMen

今年から最終月曜日に固定しました。今年も思いっきりカントリージェントルメンしよう! BC¥1600 〈予約受付中〉